

科目名	灸実技 6							年度	2026
英語科目名	Moxibustion Practice 6							学期	前期
学科・学年	鍼灸科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	安齋勉	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		

【科目の目的】

- ・各疾患ごとの様々な灸治療が出来るようになる
- ・基礎技術のレベルを落とさないようにする
- ・外部評価者による認定実技試験の課題の対策し、クリア出来るようにする。

【科目の概要】

日本各地で古くから伝わっている伝統的な灸治療や一線で活躍している鍼灸師が臨床の現場で実際に行っている灸治療を紹介し、実際に行う。また、基礎技術を維持するために2年次から行っている竹筒の灸練習は継続して行う。東洋療法学校協会で行っている外部評価者による認定実技試験対策もこの授業内で行い、全員認定を頂けるように練習に励む

【到達目標】

- A:各疾患ごとの治療穴を理解し、取穴・治療までスムーズに出来るようになる
 B:認定実技試験課題（はり）がクリアできる技術レベルになる
 C:認定実技試験課題（きゅう）がクリアできる技術レベルになる
 D:竹筒に5分間で100本の艾を竹筒にひねれるようにする（点火も含む）。
 E:竹筒に張ったティッシュの穴の数が5%以下にする。

【授業の注意点】

授業日数の4分の3以上出席にないと実技試験が受けられません。また、技術習得に必要な提出課題や予習等を必ずすること

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	疾患も理解し、何も見なくても経穴の部位がわかり、取穴、治療までスムーズに出来るようになる	何も見なくても経穴の部位がわかり、取穴、治療までスムーズに出来るようになる	一部の経穴のみ教科書で確認し、取穴、治療まで出来るようになる	教科書で確認すれば取穴、治療まで出来るようになる	教科書で確認しても取穴、治療が出来ない
到達目標 B	認定実技試験の評価基準で90点以上が取れるレベルになる	認定実技試験の評価基準で80～90点が取れるレベルになる	認定実技試験の評価基準で70～80点が取れるレベルになる	認定実技試験の評価基準で60～70点が取れるレベルになる	認定実技試験の評価基準で60未満しか取れない
到達目標 C	認定実技試験の評価基準で90点以上が取れるレベルになる	認定実技試験の評価基準で80～90点が取れるレベルになる	認定実技試験の評価基準で70～80点が取れるレベルになる	認定実技試験の評価基準で60～70点が取れるレベルになる	認定実技試験の評価基準で60未満しか取れない
到達目標 D	120本以上ひねることが出来る	100～120本ひねることが出来る	80～100本ひねることが出来る	70～80本ひねることが出来る	70本未満しかひねれない
到達目標 E	穴の数が5%以下	穴の数が10%以下	穴の数が15%以下	穴の数が20%以下	穴の数が25%以上

【教科書】

はりきゅう実技（基礎編）東洋療法学校協会編、自作プリント

【参考資料】

経絡経穴概論 医道の日本社編

【成績の評価方法・評価基準】

卒業認定実技試験（40%）、外部評価認定実技試験（40%）、竹筒灸数（10%）、出席状況（10%）

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

前期

科目名		灸実技6			年度	2026
英語表記		Moxibustion Practice 6			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
2	運動器疾患の灸施術②	肩・肘・手関節の灸施術理解と実践	1 竹筒灸練習 2 治療法紹介 3 治療実技	100壮以上出来る 各疾患に対する治療法を理解できる 治療穴を正確に取穴し、適切な灸施術が出来る	1 4 2	
3	運動器疾患の灸施術③	腰痛の灸施術理解と実践	1 竹筒灸練習 2 治療法紹介 3 治療実技	100壮以上出来る 各疾患に対する治療法を理解できる 治療穴を正確に取穴し、適切な灸施術が出来る	1 4 2	
4	運動器疾患の灸施術④	膝・足関節の灸施術理解と実践	1 竹筒灸練習 2 治療法紹介 3 治療実技	100壮以上出来る 各疾患に対する治療法を理解できる 治療穴を正確に取穴し、適切な灸施術が出来る	1 4 2	
5	外部評価認定実技試験の概要説明	外部評価者による認定実技試験の意義と方法を理解する	1 竹筒灸練習 2 外部評価の意義の理解 3 実技試験の内容理解	100壮以上出来る なぜこの試験を行うかを理解できる 試験課題を理解できる	1 4 4	
6	外部評価認定実技試験(はり)の練習	外部評価認定実技試験(はり)の課題をクリアできるようにする	1 竹筒灸練習 2 基本刺鍼動作確認 3 直刺・斜刺の課題練習	100壮以上出来る 課題通りの基本刺鍼動作を理解(特に消毒法)出来る 課題にあった、深さ・角度が行える	1 2 2	
7	外部評価認定実技試験(きゅう)の練習	外部評価認定実技試験(きゅう)の課題をクリアできるようにする	1 竹筒灸練習 2 基本灸動作確認 3 失眠灸の交互灸	100壮以上出来る 課題通りの基本灸動作(ひねり・線香操作など) 制限時間内で課題に沿った壮数が出来る	1 2 2	
8	外部評価認定実技試験の模擬試験	外部評価認定実技試験の一連の流れを理解し、90点以上の評価が出るようにする	1 竹筒灸練習 2 認定試験の通し練習 3 90点以上の評価	100壮以上出来る 実技試験がスムーズに制限時間内に行うことが出来る 専任教員による模擬試験で両方とも90点以上になる	1 2 2	
9	耳鼻咽喉科疾患の灸施術	耳鼻咽喉科疾患の灸施術の理解と実践	1 竹筒灸練習 2 治療法紹介 3 治療実技	100壮以上出来る 各疾患に対する治療法を理解できる 治療穴を正確に取穴し、適切な灸施術が出来る	1 4 2	
10	胸部疾患と症状に対する灸施術	胸部疾患と症状に対する灸施術の理解と実践	1 竹筒灸練習 2 治療法紹介 3 治療実技	100壮以上出来る 各疾患に対する治療法を理解できる 治療穴を正確に取穴し、適切な灸施術が出来る	1 4 2	
11	腹部疾患と症状に対する灸施術	腹部疾患と症状に対する灸施術の理解と実践	1 竹筒灸練習 2 治療法紹介 3 治療実技	100壮以上出来る 各疾患に対する治療法を理解できる 治療穴を正確に取穴し、適切な灸施術が出来る	1 4 2	
12	婦人科疾患の灸施術	婦人科疾患の灸施術の理解と実践	1 竹筒灸練習 2 治療法紹介 3 治療実技	100壮以上出来る 各疾患に対する治療法を理解できる 治療穴を正確に取穴し、適切な灸施術が出来る	1 4 2	
13	泌尿器科疾患の灸施術	泌尿器科疾患の灸施術の理解と実践	1 竹筒灸練習 2 治療法紹介 3 治療実技	100壮以上出来る 各疾患に対する治療法を理解できる 治療穴を正確に取穴し、適切な灸施術が出来る	1 4 2	
14	全身症状に対する灸施術	全身症状に対する灸施術の理解と実践	1 竹筒灸練習 2 治療法紹介 3 治療実技	100壮以上出来る 各疾患に対する治療法を理解できる 治療穴を正確に取穴し、適切な灸施術が出来る	1 4 2	
15	養生灸施術の理解	養生灸施術の理解と実践	1 竹筒灸練習 2 治療法紹介 3 治療実技	100壮以上出来る 各疾患に対する治療法を理解できる 治療穴を正確に取穴し、適切な灸施術が出来る	1 4 2	

評価方法：1.竹筒灸点火数、2.パフォーマンス評価、3.課題提出、4.その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考等